							(桜川市行	テ政評価シス	テム)	
平成29年度	事務事業評価	表 A(平成	t28	丰度	の実績評価	5)	記入年月日	т Б		
					事業区	·	平成 29	<u>年 5</u> 担当	月 8 日	
	事務組合参画事業(消防)			新規/継続		継続	事務事業		2000673	
	D位置付け 災・消防対策の充実			単独/補助 主要事業		単独 対象外	所属課		O4O1 安全課	
	災・消収対策の元美 いのある生活環境づくり			市長マニフェスト				1/1	1文主体	
体 施策名 O1 防災・消費	いのめる主角環境フトリー 防対策の充実			未来PJ事業		対象外		プ 生活	舌安全	
系 基本事業名 O2 防災消防体制の強化					合併建設計画事業 対象外					
財務会計上の 対象会計上の 対象会計上の 対象				事業期間						
	一般云訂 一般云訂			単年度繰返し (平成18年度~) □⇒ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記					の右側に記え	
法令根拠 筑西広域市町村圏事務組合条例										
【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)										
(1)事務事業の概要					/*/= = W.75 =		- WT			
①事務事業の概要(事務事業の全体像)				②担当者が行う業務の内容・やり方・手順						
「				分賦金を請求に基づき、年間5回に分けて納入した。筑西広域市町村圏 ・ 海絡投送会では団馬が正副会馬会議入出席する際に随行し、また会員と						
及びし尿処理の業務、筑西遊湯館、県西総				連絡協議会では団長が正副会長会議へ出席する際に随行し、また会員として総会、視察研修へ出席した。また、筑西広域幼少年婦人防火委員会						
場)、職業訓練センターの管理運営を行っ	ており、生活安				シで高さ、 R.赤 II へい					
手 業へ参画している。具体的には、分賦金の				に随行	した。					
段 で組織している筑西広域市町村圏消防連絡 人防火委員会への参加、茨城消防救急無線										
人の火安貝云への参加、次城府的牧忌無粉 協議会への参加を行っている。共同指令セ	K・拍ヤヒノター アンターは	の設直へ回りに連名 28年2日から渾田か	7,4							
開始された。	-22 100 +180	20+2/1/3 JÆ/1/3	'							
(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、	、指標値の推移									
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 ()	舌動量を表す指標)		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	
		 への出席回数			5.00	5.00	5.00	5.00	0.00	
 分賦金の納入、団長の会議出席の際の随行					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
を行い、会員として会議や視察研修へ出席					0.00	0.00	0.00		-	
した。					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)			単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
Survey (mr. 12 Guide Co. Co. 100013)				+111	(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
	桜川市の人口			人	42,632.00	42,000.00	41,616.00	41,232.00	40,848.00	
桜川市民					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②音网 (この事業によって対象をどう変え	@ _	対象における音図の達成	龙度	334 / 1	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
③意図 (この事業によって対象をどう変え るのか)	6) 成果指標	対象における意図の達成 を表す指標)	11,30	単位	(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
	広域行政サービスに満足していると答. た人の割合		答え	%	62.00	66.60	67.00	67.00	67.00	
消防対応力の向上					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	27年度	28年度	2		29年度 30年		年度 31年度		期間限定	
(3) 投入量(事業費)の推移 ――	(実績)			(計画) (目		(目標)	標) (目標)		総投入量	
国庫支出金千円	0 0			0		0		0	0	
財 県支出金 千円 地方原	0 0			0		0			0	
投 事 源 地方債 千円 業 内 使用料・手数料 千円	0	0			0	0		0		
書 訳 その他 千円	0	0			0	0		0	0	

			国庫支出金	千円	0		Ο	0	(0 (0	0	
		財	県支出金	千円	0		0	0	(0 0	0	
招	事業	源	地方債	千円	0		0	0	(0 0	0	
	業	内	使用料・手数料		0		0	0	(0	_	
	費	訳	その他	千円	0		0	0		0	0	
ス			一般財源	千円	601,482		,332	615,833	610,15			
			■業費計(A)	千円	601,482		,332	615,833	610,15		0	
1_	人		規職員従事人数	人	2.00人	2.00人		1.00人	1.00人	1.00人		
Ī	量 件		述べ業務時間	時間	72.45	W	37.15	85.00	85.0			
	費		、件費計(B)	千円	210		253		24			
		トータル	レコスト(A)+(E		601,692	631	,585	616,080	610,39			
		28年度事業費 実績(千円)						29年度事業費 予算(千円)				
		9 旅費		36				19 負担金補助及び3	交付金 615,83	3		
事	_ 19	9 負担金	会補助及び交付金	631,296								
美												
書												
σ												
内												
₹												
3,	`											
					A -1						215000	
		11/=1-6			合計		,332			合 計	615,833	
	(4)		F度の実施内容 光オス東光は、2		29年度の事業内容	š		30年度の事業	内容	31年度の	事業内容	

(4) 当該年度の実施内容 ※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する

- ・主要事業・市長マニフェスト・未来PJ事業・合併建設計画事業

L	事務事業名	筑西広域市町村圏事務組合参画事業(消防)	事務事業№.	40102000673	所属課生活安全課							
_		D現状把握(その2) 始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始され	1.たのか? 開始時期あ	るいは5年前と比べてどう	変わったのか?							
		8組合消防本部は昭和48年4月に誕生し、それ										
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 平成28年度の市民アンケートの結果では、広域行政サービスに満足していないと答えた割合は26.0%で、そのうち、広域消防及び救急事業に満足していないと答えた割合は、21.4%であった。												
((7) 前回の事務事業評	- 「価に対する改革・改善の具体的内容										
	TP:\L\\\\											
	現状維持											
4	See】 2. 評価の部											
	①政策体系との整合性	評 生 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつく)	価 項 目	はびついているかの)								
E												
的		広域的な自治体連携のもと実施していく	(ことは経費削減、効率	化及び防災消防体制の強化	に結びついている。							
松出		(なぜこの事業を市が行わなければならないのか?	税金を投入して、達成する	目的か?)(法定受託事業は	その名称)							
性	妥当である	自治体消防は消防組織法に規定されたほは妥当である。広域県内の連携強化は市		の生命財産を守るための事	業であることから、市が関与するの							
	③ 成果の向上余地	(成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準と	あるべき水準との差異はな	いか?何が原因で成果向上が	期待できないのか?)							
	向上余地がない	現在の人員及び資機材で広域消防事業を	E運営していくことが経	済的かつ効率的であるので	、成果を向上させる余地はない。							
	④廃止・休止の成果											
有效	影響有											
性	⑤類似事業との統廃	今・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性が 合) □ 具体的な手段、事務事業名	(類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む)) 受、事務事業名									
	余地がない	類似事業はないため、統廃合や連携はて	ぎきない。									
刻	⑥事業費・人件費の済	 割除余地(成果を下げずに事業費を削除できない)か?やり方を工夫して	延べ業務事業を削減できな	:いか?)							
~ 率性	削減全地がたい	本来事を別はサイフ・レは、光味用が50は17.7世間のの別はに取りのとは光味を乗りたけった。 という オンカル はま										
么	⑦ 受益機会・費用負	担の適正化余地(事業の内容が一部の受益者に偏	っていて不公平ではないか	?受益者負担が公平・公正に	なっているか?)							
平性	公正・公平である	広域消防事業はすべての市民が受益者と	なるものであり、特定	の受益者はいない。								
_	[Plan] 3. 評価結別 (1) 1次評価者とし	Rの総括と今後の方向性(次年度計画と予算への アの評価結果 (グ	反映) 2) 全体総括(振り返	り、反省点)								
	①目的妥当性 日 ②有効性 日 ③効率性 日 ④公平性 日	適切	筑西広域市町村圏消防	連絡協議会及び筑西広域ダ の消防活動に生かされてい	経費も必要最低限で運営されてい の少年防火委員会は構成3市の連携強いる。今後は、桜川消防署の建設に向							
(;	3) 今後の事業の方向	·	夏数回答可)		(4) 改革・改善による期待成果							
	□終了 ■総	歩続 → □ 改革改善を行う→ □ □	目的の再設定 [□ 効率性の改善 □ 公平性の改善	(終了・廃止・休止の場合は記入不要)							
	□廃止□は			コ 連携ができる	削減 維持 増加							
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 成 維												
果特												
		(6)事務事業優先度評価結果										
		成果優先度評価結果 ⑤										
Ļ	【Check】 4. 確認及	ひび改革改善に向けての指摘事項			コスト削減優先度評価結果							
((1) 課長評価		(2) 部長確認及び記	平価 (課長評価により、(C、D判定及び確認が必要な場合)							
		現状維持) C:終了、廃止、休止 改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄									